

第 1488 回例会報告

平成29年1月5日(木)晴れ

会長挨拶

会長 河西達雄

あけましておめでとうございます。

皆様あけましておめでとうございます。昨年は公私ともに大変お世話になり厚く御礼申し上げます。引き続き本年もよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

さて、私はご存知の通り優柔不断の上、根が暗い性格ですので、例えばカラオケを歌っても明るい歌は苦手ですし、読む本もそうした手合いのものが多く自分でも困ったものだと思っています。しかし新年くらいは明るい気持ちのお話をしなければと思っています。

明るくておめでたいといえややはり1月1日です。そこで悪い癖なのですが、なぜ1月1日はおめでたいのかという疑問がわきました。そんな折 NHKの「知恵泉」という番組を見ていたら、「1月1日には、皆誕生日を迎えるのだから、誕生日にはおめでたうと言うでしょう」という発言がありました。なるほどと思いました。

今は満で誕生日を考えますので、正月は誕生日として意味を感じませんが、私たちが小さなころは良く満で5歳数えて6歳のような話を聞きました。人間は生まれたら1歳、翌正月を迎えれば2歳という数え方です。同じように7年一度の御柱も終わった時点で1年ですので年が明けたら2年で7年一度は満では6年ごとになります。

インド発祥と言われるゼロですが、あかちゃんが、そこにいるのに、実体がないようなゼロ歳時とか、御柱終わった次の日は、御柱終わってゼロ年、という表現は今の私たちには当たり前でも昔の人にはかなり理解しづらいものであったと思います。

ゼロの話は別として1月1日は皆の誕生日であり、皆が元気でお正月を迎えたのでおめでとうございます。

なお、おめでとうは愛と書く愛ずるの連用形「愛で」に「甚し(いたし)」がついた「愛で甚し(めでいたし)」から発生したそうです。美しいもの、素晴らしいもの、可愛いものに深い愛情を寄せる気持ちを表します。祝福の言葉として使われる「おめでとう」とは本来『愛したい』気持ちが込められた言葉であり派生して喜ばしい、美しい、みごとだ、おいしい等広い意味で「めでたい」という言葉が使われてきましたそうです。

それでは、気持ち悪いかもしれませんが、愛を込めて再度「おめでとうございます」

◇幹事報告◇

【報告事項】

1. 2600地区より、次の3名の方の次期地区役員への承認を依頼されました。本人の同意を得まして承認書を地区へ送付しました。

国際奉仕委員会世界社会奉仕委員渡邊芳紀さん
ロータリー財団補助金小委員会委員小松孝弘さん

ロータリー財団資金管理会計小委員会委員蒲地

■出席報告

会員数	37名
出席対象	37名
出席者数	27名
出席率	75.0%
前回修正	91.7%

■ニコニコBOX

20名	30,000円
累計	299,300円
目標額	60万円
達成率	49.9%

■今週のことは

青木町長さんをお迎えして。本日は卓話よろしくお願いたします。ますますのご活躍をお祈りいたします。

尾上正弘、河西達雄、高林一紀



整志さん

2. 地区青少年基金補助金申請は、次年度高山エレクト、小口幹事予定者の意向により「諏訪湖浄化にかかわる小学生が遊覧船から諏訪湖を見る運動」に決定しました。

萩田会員にご苦勞いただき申請書を作成し、大澤ガバナー補佐の署名を添えて地区に申請しました。

3. 1月度ロータリーレートは 116 円と連絡がありました

【連絡事項】

1. 2016 年手続要覧が2月に発行になります。クラブとして15冊注文しました

2. 書き損じはがきの収集依頼が来ました。本月の理事会で検討します

3. 美しい環境づくり諏訪地域推進会議より「豊かな環境づくり地域活動支援事業」の募集について案内が届きました。社会奉仕委員会へお渡しします。(例年不参加の返事がありました)

4. クリスマス例会の席上で忘れ物がありました。奥様にご確認ください。

【受領文書】

1. ロータリーの友が届きました

2. 月信が届きました。また訂正も来ています
月信1月号6ページ「RI第 2600 地区ロータリー財団地区補助金申請事業の実施報告伊那西ロータリークラブは飯田南ロータリークラブ」の間違いでした

3. ハイライト米山が届きました。

4. ロータリーコーディネーター便りが届きました。

5. 時機を逸しましたが、地区より年末の挨拶が来ました

Happy birthday 



今月の誕生日は小松孝弘会員、近江誠一会員、高山巖会員でした。

委員会報告

【IM 実行委員会】

1月下旬までに担当委員会の進捗状況をお尋ねします。それまでに話し合いをお持ちください

【会計】

後期分の会費納付書をレターボックスに入れています。該当者はよろしく願いいたします。

新春祈願祭を行いました



第 1488 回例会

青木下諏訪町長新春卓話

担当 会長・幹事

「毎年新年のロータリーの講演が悩みの種ですが、もう3回は頑張らねば」と笑いを誘うお話で町長卓話はスタートしました。青木町長のますますのご活躍を期待いたします。



自分自身のこととしては町長選で4選を果たすことができました。覚悟が必要な出馬でしたが、何とか支持をいただけたので、4期目は公約に掲げた「住民満足度100%のまちづくり」を目指し、住民に寄り添い、

住民要望に応える町政運営に心掛けたいと決意を新たにしています。

昨年はおんばしら年でした。天候にも恵まれ、多くの皆さんにお越しいただき、また氏子の祭りとして楽しんでいただけました。下社関係では安全に曳行が終了し、とてもいい祭りになったと思っております。「町としては特に「おんばしら館よさ」を祭りに合わせて開設し、通年観光の一つの拠点が出来たことをうれしく思っています。比較的多くの皆さんにお越しいただき、当初目標の入館者数もクリアできました。引き続き通年観光、まち歩き観光の核として活用していきたい。

子育て支援については、保育園担当保健師の配置などを予定しているが、昨年は婚姻の数が一昨年を大きく上回ったことを喜ばしく思っている。色々な要因があると思われるが、支援を続けるべく新婚カップル専用の町営住宅（マンション）は、17年度にプロジェクトをつくり検討する。プロジェクトは婚括メンバーや結婚適齢期を迎えて同住宅が必要となる可能性のある人などを含めた構成とし、建設の財源や手法などを含めて民力を有効活用した新しい新の手法で検討したい。また住宅関係では、リフォーム補助制度の復活や耐震化を促進する補助の上乗せがある。耐震化については、国も率を引き上げた。町と合わせ、全体で100万円程度の補助ができるように措置していきたい。

労災リハビリテーション長野作業所の跡地の活用は、とりあえず取得に手を上げた。もし売却するなら町が買いますという意思表示です。今後国道20号線バイパスの直下に当たる絶好の場所なので、多くの有効な使い方が考えられるが、年度内に国との契約を済ませて取得し、有効活用について下諏訪商工会議所や地元との協議を進めたい。基本的には「クラフトタウン」「テレワーク」なども構想の一つです。

埋蔵文化財センターの建設工事が進められている。おかげさまで、職員の努力もあり多くの国の補助を得ることができ大変うれしく思っている。

埋蔵文化財センターは大型連休前にオープン予定。引き続き諏訪湖時の科学館儀象堂の改装も行う。埋蔵文化財センターは星ヶ塔まで行かなくても遺跡の重要性が理解できる形で整備していきたい。

儀象堂も展示のあり方、体験、カルチャーなどの活用に向けて全体のレイアウトを検討し、来年度当初予算に設計経費を盛り込みたい。埋蔵文化財センターと一体町な観光拠点として、下諏訪の歴史をたどることができるような施設にしたい。

住民の皆さんとの協働のまちづくりを更に進めていきたい。引き続きまちづくりへの参画をよろしく願います。